

湘南モノレール

鉄道安全報告書 2021



おかげさまで全線開通 50 周年を迎えることができました。
私たちは、日々、安全輸送・定時運行に努めてまいります。



本報告書では、鉄道事業法第 19 条の 4 に基づき、当社の安全確保に向けた取り組みについて公表しております。

湘南モノレール 鉄道安全報告書2021

1 お客さまはじめ地域の皆さまへ

平素より湘南モノレールをご利用いただき、誠にありがとうございます。鉄道安全報告書2021の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

弊社は、日々、安全安心輸送並びに定時運行に努めておりますが、2020年10月1日から2021年9月30日までの1年間に、30分以上の遅延・運休(輸送障害)を5件発生させてしまい、ご利用者の皆さまに多大なるご迷惑をお掛け致しましたこと、心よりお詫び申し上げます。このような事態を繰り返さぬよう、企業努力を積み重ねて参りますことをお約束申し上げます。

この1年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによりお客さまや地域の皆さまの日常が一変したと存じます。弊社では、国土交通省からの要請や「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」等に沿い、感染症対策に取り組んで参りました。具体的には、皆さまに安心してご利用いただけますよう、車内換気のための窓開け、車内抗ウイルス・抗菌コーティング加工、消毒液を用いた定期清掃、アルコール消毒液の設置、トイレ自動水栓化・便座シートクリーナー設置、各種社員感染症予防策、ワクチン職域接種等々の感染症対策を実施しております。

弊社は、2020年3月に開業50周年を、そして、2021年7月に全線開通50周年を迎えました。安全安心輸送・定時運行は常なるサービスとして、感染症対策にも確りと取り組んで参ります。そして、安全安心に加え、快適で、皆様に愛される乗り物・モノレールを次の世代へと繋いで行く為、アフターコロナ禍に向け、労使一丸となり、経営基盤を一層強固なものとするべく奮闘努力して参りますので、引き続きご支援・ご愛顧賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

湘南モノレール株式会社

代表取締役社長 尾 渡 英 生

2 安全方針と安全目標

(1)安全方針

湘南モノレールでは、安全管理規程において、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、下記の「安全方針」を全従業員に周知を図り、日々安全確保に取り組んでいます。

【安全方針】

『安全は全てに優先する』を基本理念とし、あらゆる事故の未然防止の為に、積極的且つ全社横断的に運輸安全マネジメントシステムを展開し持続的改善を図り、以ってステークホルダーに対し責任と義務を遂行する。

1. 人員輸送や施設・車両の保守工事等における安全責任を深く認識し『安全は全てに優先する』という基本方針を掲げ、全社員に浸透させ責任ある組織体制の構築に努める。
2. 人員輸送や施設・車両の保守工事等における事故防止、労働安全衛生および環境保全について、関係法令の遵守、自主基準の遵守はもとより適切な施策の導入を図り継続的な改善に努める。
3. 車両事故人身事故ゼロ・労働災害ゼロを安全目標と定め、達成する為に適切な施策の導入を図り、社員に対し啓蒙、教育、訓練を実施する。
4. 安全に関する情報が迅速に伝達される組織を確立し、その情報については、必要に応じステークホルダーと共有、周知徹底し、安全の向上に努める。
5. 万一の事故に備えて緊急連絡体制および緊急時処置対策を定め被害を最小限に抑えるために必要な措置を講じる。
6. 常日頃の安全並びに万一の事故に備え、社員の心と体の健康づくりを積極的に推進する。
7. 基本方針や安全目標等を所定の場所に掲示し、全社員に周知するとともに、必要に応じステークホルダーと共有する。

(2)安全目標

『車両事故人身事故ゼロ・労働災害ゼロ』を安全目標に掲げ、事故等の防止に全力で取り組んでいます。

| 区 分 | 項 目 | 内 容 |
|--------|-------|-------------------------|
| 定量的な目標 | 運転事故等 | 運転事故等を発生させない。 |
| | 輸送障害 | 鉄道施設等を原因とする輸送障害を発生させない。 |

3 2020年10月～2021年9月までの事故等の発生状況とその再発防止措置

(1)鉄道運転事故等 ※下記グラフの 部に該当します。

事故は発生していません。

(2)災害(地震、暴風雨、落雷などによる被害)

災害は発生していません。

(3)輸送障害(30分以上の遅延や運休)

車両をはじめ各種機器の予防保全に努めておりますが、鉄道施設等の故障により4件、鉄道以外の原因では1件、合計5件発生しました。内容は次のとおりです。

①鉄道施設等の原因 ※グラフの 部に該当します。

- ア. 2021年2月9日、大船駅停車中の列車において、空気圧縮機の作動が停止し非常ブレーキが緩まなかった為、1時間50分程、全線の運転を見合わせました。空気圧縮機の作動が停止した原因は、電源ケーブルが車両間の渡り部で断線したことによるものです。再発防止対策として、渡り部のケーブルを電線管に収め従来のケーブル押さえに直接固定から電線管を介しての間接固定に変更しました。
- イ. 2021年2月19日、指令所において湘南深沢駅の転てつ機の開通方向を示す表示灯が不点となったため、信号の現示が停止となり1時間40分程、運転を見合わせました。原因については、転てつ機の開通方向の信号を送るリレーの不良で、当該リレーの交換を行いました。当該リレーは使用開始から3年弱程度であることから、個体差によるものと推測され、同様な事象が頻繁に発生した場合は、交換周期の見直しを検討し、再発防止及び予防保全に努めることとしました。
- ウ. 2021年8月9日、西鎌倉駅の転てつ機の転換不良が発生したため44分程、運転を見合わせました。原因については、点検中に自然復旧したことから電氣的な原因の場合はリレーの不良、油圧的な原因の場合は配管内の残留エアの影響による動作不良と想定されるため、関係リレーの交換及び油圧配管内のエア抜きを実施し経過を観察中です。
- エ. 2021年8月20日指令所の運行表示盤の湘南深沢駅において、列車が在線してないにも関わらず、在線ありの表示が数秒程度点灯する事象が発生したため、湘南深沢駅から湘南江の島駅間において、2時間25分程運転を見合わせました。関係するリレーを交換後、試運転実施により再発の無いことを確認し全線にて運転を再開しました。原因については関係するリレーの接点に黒鉛が付着していたことによる接触不良でした。対策として、予備品を確保し、原因と特定されたリレーを交換し対応してまいります。

②鉄道以外の原因 ※グラフの 部に該当します。

2021年7月3日湘南深沢駅～湘南江の島駅間の指定区域において、規制値を超える大雨となったため、当該区間の運転を見合せ、全線運転再開におよそ5時間25分を要しました。

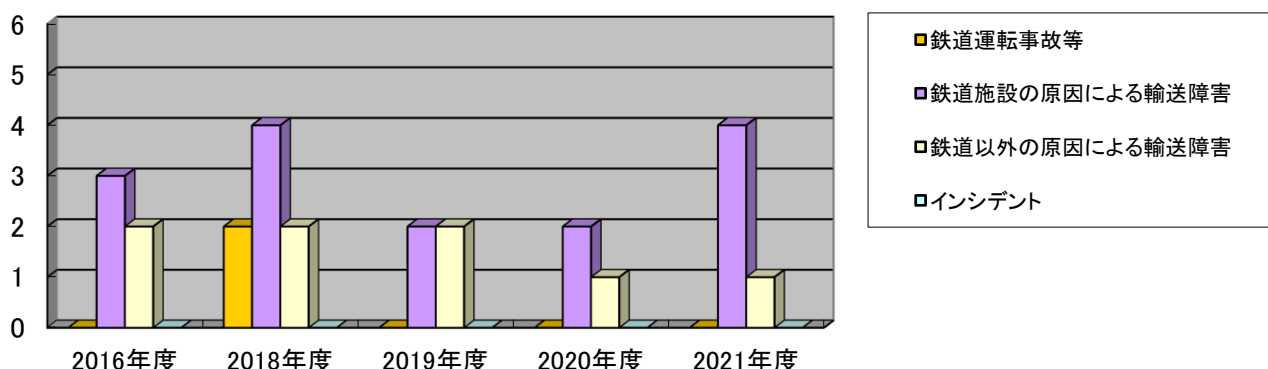
(4)インシデント(鉄道事故等が発生するおそれがある事態) ※グラフの 部に該当します。

インシデントは発生していません。

(5)行政指導等

事故等による行政指導はありません。

＜過去5年間の運転事故、輸送障害等の発生件数＞ ※2016年度は2016年4月から2017年9月までの件数



4 輸送の安全確保のための取組み

(1)安全のための設備等の改善

安全のための設備更新・長寿命化、改良工事など様々な設備対策を実施し、安全対策の強化・向上を図っています。2021年度は、741百万円の設備投資を実施した内719百万円が、安全対策に係わる設備投資でした。主な設備等の改善は次表のとおりです。

| 項目 | 設備名 | 内容 | 場所 |
|--------|---------------|--------------------------|-------------------------|
| 施設対策 | ・軌道桁 ・トンネル | ・下フランジ補強 ・補修工事 | ・湘南深沢駅～西鎌倉駅間 ・片瀬トンネル |
| 電力通信対策 | ・通信設備 | ・列車無線更新 ・坑口ケーブル防護工事 | ・車上局 ・鎌倉山トンネル |
| 駅設備対策 | ・駅舎 | ・放送装置更新 ・ホームスラブ剥落防止工事 | ・富士見町駅～目白山下駅間 ・湘南深沢駅 |
| 車両安全対策 | ・車両設備 | ・車両改造工事 | ・保有車両（7編成） |
| 安全運行確保 | ・運転保安設備 | ・PTC装置更新工事 | ・指令所 |
| 情報提供 | ・運行情報 | ・システム改修工事 | ・当社ホームページ |

開業後50年以上に亘り、設備の定期的な更新や施設の定期的な点検等を確実に実施し、日々施設の維持管理に努めてまいりました。軌道桁や桁を支える支柱、トンネルや変電設備なども長寿命化や耐震性能向上を図るため、引き続き、中長期計画に従って必要な工事を着実に進め、さらなる輸送の安全性向上に取り組んでまいります。

(2)事故防止・テロ対応等の各種安全教育訓練

鉄道係員は、事故防止や自然災害等の緊急事態に備え、年間教育訓練計画に基づき、実車両を使用して各種訓練を定期的に行っています。テロ対応においても不審者、不審物に対し適切な対処、処置が実践できるよう演習訓練を実施しています。

また、高齢の方や障がいのあるお客様にも安心してご乗車いただけるよう民間資格である「サービス介助士」の資格取得に取り組んでおり、現在47名の駅員・乗務員がおもてなしの心と介助技術を身に付け活躍しています。資格取得後は介助技術の維持、強化を目的に実践形式による教育を実施。その他ホスピタリティ研修等の外部講習の受講により接遇面の向上に努めております。

消火器放水→
訓練



←テロ対応
訓練

(3) 防災対策

当社では、9月1日の防災の日または防災週間において、毎年、地震予知対応訓練、その後に大きな地震が発生したことを想定した防災対応訓練を行い、お客様を安全・適切に、そして迅速に避難誘導できるよう、また、迅速確実に線路等の安全確認が行えるよう訓練を実施しています。

2021年度は、9月1日に昨年と同様に「南海トラフ地震に関連する情報」を受け、地震が発生したことを想定し実施いたしました。

防災マネジメントの取組みといたしまして、自然災害による被害を最小限に留めるため、自然災害に対する準備について、毎月開催されている鉄道の安全推進委員会により各部署から進捗状況を報告しフォローしております。

(4) 車両管理

お客さまに安全で快適な車両を提供するため、車両の分解・検査・整備を定期的に行っています。

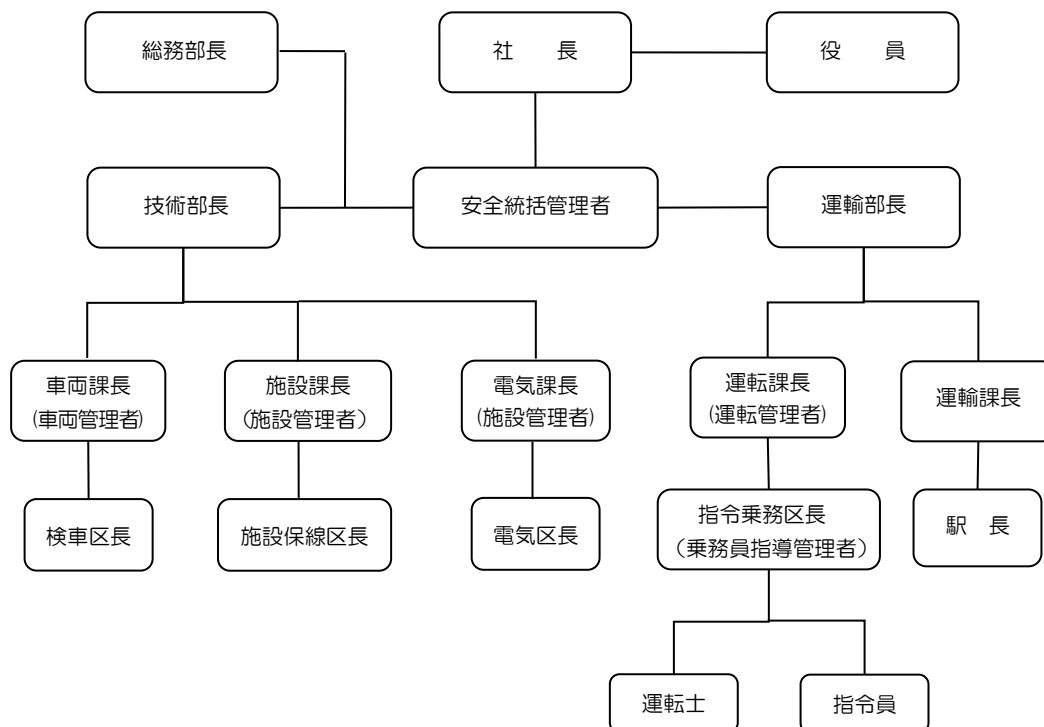
| 検査名 | 検査周期 | 検査内容 |
|-------|------|--------------------------------|
| 全般検査 | 8年 | 主要部分を取り外して全般を検査する。 |
| 重要部検査 | 4年 | 重要な装置の主要部分を検査する。 |
| 月検査 | 3ヶ月 | 車両の状態及び機能を検査する。 |
| 列車検査 | 6日 | 主要部分を外部から検査する。 |
| 臨時検査 | 随時 | 改造又は修繕を行なったとき、その他必要が生じたとき検査する。 |

※その他、定期的にタイヤの検査を実施しています。

5 当社の安全管理体制

当社では、鉄道事業法等に基づき、社長や安全統括管理者をはじめとする各管理者の責務等を定めた「安全管理規程」を2006年10月に制定（2017年改正）し、以下の体制で毎日の安全運行の確保に努めています。

(1) 輸送の安全の確保に関する体制



| 役 職 | 役 割 |
|----------------------|---|
| 社 長 | 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。 |
| 安全統括管理者 | 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。 |
| 運輸部長 | 安全統括管理者を補佐し、輸送の安全の確保に必要な運輸、運転に関する事項を統括する。 |
| 技術部長 | 安全統括管理者を補佐し、電気、車両、軌道及び鉄道施設に関する事項を統括する。 |
| 総務部長 | 輸送の安全の確保に必要な要員、設備投資、財務に関する事項を統括する。 |
| 運転課長 (運転管理者) | 安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。 |
| 指令乗務区長 (乗務員指導管理者) | 運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。 |
| 車両課長 (車両管理者) | 安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。 |
| 施設課長 (施設管理者) | 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。 |
| 電気課長 (施設管理者) | 安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。 |

(2) 輸送の安全に関する会議・監査等

① 社長等による安全パトロール

社長、安全統括管理者は、部課長及び労働組合役員とともに、夏季及び年末年始の輸送安全総点検において職場を巡視し、安全管理の実施状況や現場の安全対策を確認するとともに、意見交換を行い、速やかな改善によって社員の安全意識の高揚を図っています。



安全パトロールの様子

② 監査の実施

安全管理体制における課題や問題点を明らかにし、更なる改善を図るため、毎年、安全マネジメント内部監査を実施しています。

③ マネジメントレビュー会議

鉄道の安全管理体制の構築・改善の状況を振り返り、総括し、必要に応じて見直し・改善を行う会議で、社長が主催し、毎年1回定期に開催しています。

④ 鉄道の安全推進委員会

輸送の安全の確保を図ることを目的に、安全統括管理者を委員長として毎月1回開催し、事故防止に関する運転・車両・施設等の実施事項、事故・災害等発生時の対応、安全確保のための運転事故防止に関する事項、ヒヤリハット報告制度により報告のあった事項等について対策等を検討、決定し、その処置が適切に機能していることを確認しています。

6 地元の皆さまとの連携とお願い

(1)線路付近の工事について

モノレールの線路の近くで、高所作業車を使用するときや解体工事、建設工事等で重機を使用するときは、モノレールの運行に支障する場合がありますので、事前に当社へご連絡をお願いいたします。

(2)夜間作業へのご協力について

深夜の時間帯には、列車が運行しているときに実施できない、安全輸送に必要な線路の点検や工事を行っています。音の出ることがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(3)運行情報の提供

当社の運行情報は各駅の案内表示、またはホームページによりお知らせしています。尚、遅延や、運転を見合わせた場合、また、平常に復した際には、Twitterにも情報が反映されるシステムとなっております。

(4)新型コロナウイルス感染症対策について

当社では、お客様に安心してご利用いただけるよう『鉄軌道事業者における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン』に沿い各種感染症対策を実施しております。駅務機器や車両の手すり、つり革などには抗ウイルス・抗菌コーティングを施しています。運行中は窓を開け換気に努めております。また、従業員は、マスク着用、手指消毒などの感染予防策を徹底し業務を行なっております。

| |
|---|
| お 問 い 合 わ せ |
| 総 務 部 総 務 課 |
| TEL : 0467(45)3181(代) |
| [営業時間：月から金 9時00分~17時30分 祝祭日・年末年始を除く] |
| E-mail : info@shonan-monorail.co.jp |